花鳥風月・俳句

どくだみの花純白色の良さ

紫陽花や令和の雨に七変化

明星　勲

白服の笑顔もうつす看護師や

オリンピア金の飛びかう我指輪

笹井　久江

炎昼や大傷するなり頭蓋骨

影法師ひと足早く秋に入る

徳永　誠一

形代に背負わせコロナ流しけり

越智　和人

髪形や金魚に見ゆる女性カナ

越智　恵美子

七夕や発車のベルに揺れる笹

石井　トシ子

妣に逢うサマードレスのよく似合う

鈴木　孝枝

死んだまね空中ブランコ蜘蛛の巣よ

住み馴れてここが一番昼寝かな

スマホにて昔懐かし写メールす

八月や防空頭巾母手縫い

夕焼に稲の上おばトンボ舞う

加藤　イサ子

暖いコーヒーがよろしお三時よ

犬連れて茅の輪をくぐる若家族

小林　泰子

五才児の暑中見舞に感激す

日日育つ青田眺める我が家かな

三浦　シズ子

永き日の太陽沈むまで畑に

今城　宏子

かき氷真赤な水となりにけり

コスモスや風に揺られて笑い声

にわか雨野菜畑に降る笑顔

出来立ての風を貫って夜寒かな

小野　弘幸

ふるさとの大樹の林せみしくれ

ぬかづけのなすの色たしかめる

曽我部　福石

老木の枝を広げる百日紅

畑の角山ゆり２本おじぎする

春愁の草茂るや赤蜻蛉

篠原　高代

腕を組み幾度も空を噛む雨月

秋の田を見下ろす孫の肩車

敬老の日は多忙なるスマホかな

小田　慶喜

指差しが定まらぬほど秋の星

秋耕の音を横切る鳥の声

秋の灯やまじまじと我が影を見る

小田　和子

亡き父が植えるようにと百日紅

孫全開合格しらせ青嵐

小野　宮子

泥団子付けて移植の大豆苗

葉を巻きて慈雨待ちかねる野菜畑

森本　郁子